

排出事業者のための有益情報満載ニュースレター

WASTE TODAY

9月号
2020

2020.09.29

発行者：株式会社リーテム

✓ 今月のテーマ 「デジタルの波」

最近では経済ニュースでも政治家の討論の中でも「デジタル」という言葉が飛び交うようになりました。来年にはデジタル庁が創設されるとのこと。最近よく耳にするDX（デジタルトランスフォーメーション）とは何か？ 一方でIT化と呼ばれるのは何を指しているのか？ 新型コロナウイルスの影響で様々なことがオンラインで行われるようになる中、なんとなくわかっていようであやふやなことを整理しました。



💬 IT化ってDXとは違うの？

IT化とDX（デジタルトランスフォーメーション）は似ているようで異なるものです。IT化と言えば、頭に浮かべるのは「コンピューターや通信機器、インターネット等を活用した業務の効率化」という表現でしょう。身近な例としては、PCやタブレット、スマホを利用して、企業内や取引先との間で契約書やその他の書類、伝票などを電子化することにより押印などの手間や紙媒体を回付する時間を省いたり、グループウェアの利用等により情報共有するなどです。こうした業務改善で生じる空き時間や人材の余裕を、創造的業務に割り当てることができるようになります。まとめると「IT化」は企業内とその取引先の業務改善の手法の1つ、と言えます。

IT化によるルーチン業務の簡略化と情報共有の例

- 電子契約による効率化と印紙の節約
- グループウェアによる、届出、登録、会議室予約、経費精算、各種の業務管理等により、チームメンバー、管理者は情報をいつでも入手可能

▶ 共有情報をデータベース化したら

---> 知識の共有へ

▶ 空いた時間と人的リソースを

---> 創造的業務へ

(高品質または新しい製品やサービスの開発など)

💬 DX（デジタルトランスフォーメーション）とは？

「DX（デジタルトランスフォーメーション）」という言葉が頻りに耳にするようになりました。DXイコールIT化と誤解されがちですが、そうではありません。ビジネスにおけるDXは「ITの活用を通じて、製品、サービス、ビジネスモデルや組織を変革することによって、競争上の優位性を確立すること」を意味しています。IT化が企業内の業務改善を主目的にしている一方で、DXは企業の業績向上と経営拡大が目的です。

平成30年5月に経済産業省が設置した有識者による研究会では、日本企業がDXを実現するうえでの現状の課題の整理と対応策の検討が継続して行われています。経済産業省の発表した「DX推進ガイドライン ver.1.0（平成30年12月）」には、DX推進に向けた経営の在り方や、先行事例や失敗ケース等が紹介されています。

(<https://www.meti.go.jp/press/2018/12/20181212004/20181212004-1.pdf>)



・競争戦略
・差別化
・ビジネスモデルの変革



株式会社リーテム

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-15-2 新神田ビル7 F

TEL. 03-5256-7041 Mail. info@re-tem.com <https://www.re-tem.com/>

「資源循環×デジタル」プロジェクト

今後、幅広い産業においてDXが進むと見込まれる中、環境の分野でもDXに向けた動きが始まっています。環境省が主導している「資源循環 × デジタル」プロジェクトは、使用済み製品や有用資源の、国内での効率的なリユース、リサイクル促進のための「情報プラットフォーム」構築の構想です。プラットフォームには、モノのトレーサビリティやコミュニケーション促進機能を持たせるとされており、2021年度以降に具体的な実証事業が行われるようです。

想定されている実証事業 1

リユース・リサイクルの一体的運営
 <モデル：太陽光パネル>



プラットフォームの役割

- 適正価格による適正処理を促進し、トレーサビリティ（有害物質を含む）を管理
- 発電事業者にワンストップサービスを提供
- 処理業者の適正処理プロセスを促進
- 回収された太陽光パネルのリユースについて、二次市場に見合った性能検査をサポート

想定されている実証事業 2

工場排出物の管理の合理化
 <モデル：複数の登録工場から排出される端材包装材、廃製品、廃棄設備等>



プラットフォームの役割

- 排出物の性状を共通分類等で整理し、排出事業者とリサイクラー等のコミュニケーション促進の場を提供
- 排出から再生材製造までの性状や処理プロセスをトレース可能な状態で情報保管
- 排出事業者の合意の範囲内で、排出物情報等をデータベース化し、業界・自社分析等に活用

環境省「資源循環×デジタル」プロジェクト～資源循環における情報プラットフォームの活用～検討結果取りまとめ【概要】
 2020.07.28

編集後記

廃棄物処理業界は全般として他の分野に比べてアナログだと言われていますが、一部の廃棄物処理・リサイクル事業者の中には、社内のIT化はもちろんのこと、DXを成長戦略の一つとして積極的に挑戦している企業もあります。新型コロナウイルスの影響で社会と経済が大きく変化した現在、廃棄物処理業界全体が旧来の発想や習慣から脱皮し、進化しなければならないと感じます。

◇ リーテムのサービスのご紹介



廃棄物一元管理サービス

https://peraichi.com/landing_pages/view/2020re/



株式会社リーテム

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-15-2 新神田ビル7 F
 TEL. 03-5256-7041 Mail. info@re-tem.com <https://www.re-tem.com/>